



謹賀新年



奈良・東広島ワークショップ 報告

「自由な暮らし。自分らしく、ともに住まう。」

「一地域をつくるグループリビング」

公益財団法人 JKA の補助事業により、社会福祉法人福島福祉会主催で奈良市の社会福祉法人秋篠菫会のグループリビングあやめの里と東広島市の NPO 法人人間大好きของกลุ่มリビング明日への風でワークショップ・見学会、また奈良市のコミュニティ法隆寺で見学会を開催しました。

今回のワークショップは、参加者は少人数でしたが、グループリビングについて、ある程度理解をもっている参加者が多かったため、中身の濃いディスカッションができました。

開催にご協力いただいた秋篠菫会、人間大好きの皆様、またお手伝いいただいた会員の皆様、ご協力ありがとうございました。



奈良ワークショップ 10月24日(土)・25日(日)

奈良県奈良市 あやめの里

1日目の午前中は社会福祉法人秋篠菫会の運営するグループリビングあやめの里の見学を行いました。午後は昼食をとった後、ワークショップを行いました。最初にワークショップ主催の福島福祉施設長の清野恭子氏と開催場所である秋篠菫会所長の中里寛美氏、グループリビング運営協議会会長の西條節子氏の挨拶がありました。続いて秋篠菫会所長の中里寛美氏が「あやめの里の暮らし」、いぶりたすけ愛理事長の星川光子氏が「NPO法人いぶりたすけ愛の活動-幸せを追いかけて」、兵庫県立福祉のまちづくり研究所 宮野順子氏が「グループリビングにおける居住者間関係と生活の質」、コミュニティハウス法隆寺の向平すすむ氏が「私たち超家族-コミュニティハウス法隆寺の10年」について、講演しました。その後、慶應義塾大学総合政策学部教授の大江守之氏が司会で各講師と参加者とのディスカッションを行いました。参加者からグループリビングに関する様々な質問が挙げられ、講師がそれに応える形で行われました。約30人の参加がありました。

2日はコミュニティハウス法隆寺の見学を行い、向平すすむ氏から暮らしや組織についてのお話を聞きました。その後畑でとれた野菜のお料理をいただきました。



1日目 ワークショップ



左から大江守之氏、向平すすむ氏、宮野順子氏、中里寛美氏、星川光子氏



西條節子氏



会場の様子

あやめの里について

グループリビングあやめの里は、社会福祉法人秋篠茜会が財団法人 JKA の建設補助により、介護予防サイクルハウスを合築して開設している。

同法人は特別養護老人ホームや小規模多機能、保育園などを運営し、幅広く地域福祉に貢献している。

2日目 コミュニティハウス法隆寺



コミュニティハウス法隆寺見学会



畑で採れた野菜のお料理



食事風景

コミュニティハウス法隆寺について

2014年11月に奈良市の斑鳩の里に開設された。支え合って暮らしたいという無縁だった13人の仲間が集まり、株式会社の組織にして、自分たちで資金、経費を分担し、維持管理まで行っている。居住者は株主になり、株主全員が一人一票で参加し、負担し、義務、責任を負っている。

地域の農家と交流しながら、有志による野菜づくりも行っている。野菜によるメニューを楽しんでもらうサロン「小さな農と食の愉しみ」を毎月行っている。

参加者の感想

・いろいろとお話を聞ける機会でもとても参考になりました。京都でも勉強会を 7 年間続けてやっと戸建て住宅改修型の 5 人のグループリビングの計画が進みそうです。今日は西條先生にもお会いできて 16 年目に入った COCO 湘南台のお話を伺える貴重な時間も持てました。(設計事務所)

・グループリビングとは何か、本質を含めて勉強になりました。最大のリスク、居住者確保を巡ってこれだけをテーマに考えあう機会があればいいと思います。(株式会社)

・成功者の体験談など聞かせていただき、ありがとうございました。今後のステップに勉強させていただきました。(NPO 法人)

・私は兵庫県で介護の仕事をしております。神戸市内では住むところのない老人が多いと聞きます。そのような老人に住んでもらうグループリビングを作りたいと思います。

・熱い意見交換が参考になりました。(財団法人)

・経営の大変さ、入居者の確保と皆同じ悩みを持たれていました。工夫や実績を参考にしながら、明日からの業務に邁進します。(NPO 法人)

・経営をされている方からの意見から、実態を知ることができ、たいへん貴重な経験をさせていただきました。私は簡単に言いますと自立高齢者のみのシェアハウスが実現できないかということ自立高齢者のシェアハウスに関してのワークショップとグループリビングの事例から研究しております。経営から入居、そして終の住処としての考え方が、今後高齢者が増えてゆく中で、高齢者のシェアハウスを実現する上で、しっかりと行っていかなければならないと思いました。(大学院生)

・様々な事例のお話を伺うことができ、大変勉強になりました。運営、スタートアップの方法も様々なこういう住まい方もあるんだということが地域に伝わり、選択肢になっていけばいいと思いました。(社会福祉法人)

・運営者や居住者の方から、取り組みの内容や暮らし方の様子、設立までの経緯がお聞きできてとても参考になった。居住者の「自立と共生」のエピソードなど感動しました。高齢期にどの様に誰と暮らすかを考えて自分達で住まいを作られたコミュニティハウス法隆寺の事例がすごいですね。居住者が入れ替わりながらも、全員オーナーでみんながつくる暮らしが続いてほしいなと思いました。ディスカッションでの誰がリスクをとるか、地域との交流とその意義について聞けて参考になりました。個人的には認知症や介護度によってグループリビングから退去されることもあるということですが、入居の際に、入居者がどのような将来イメージ(亡くなるまでの居住安定の確保)をもち、自宅はどうされているのかが気になります。(研究職)

・グループリビングは名前を聞いたことはあっても、実態を良くわかっていなかったなので、見学

を含め最近の知見を得るために参加しました。今回は運営や資金の具体的な話題が聞けて興味深かったです。その中で様々なりリスクを低減する仕組み、システムの話題がありましたが、次はその辺を掘り下げて聞けると、ありがたいです。(研究職)

・初心者なので飛び交っている専門用語を理解するのもおぼつかない状態でしたが、今後必ず訪れる高齢社会に向けて興味深い話が聞けました。運営に関すること、作り方など教えていただきたいと思います。世の中にはまだ認知度が低いと思いますので、こういう勉強会があることは非常に心強いです。今後もこういう機会を設けていただくようお願いします。(民間企業)

・講演の中で苦労話が聞けて良かったです。入居者の姿は分かりましたが、まだまだ認知度がひろまっていないようで、入居者を確保するのも大変そうでした。経営的にどうなのか、これからグループリビングを作るにあたって心配しています。(民間企業)

・運営者の方々が講演され、住まい方、状況など聞けて参考になりました。私たちも現在はグループリビングを目指していますがよいところ、人集めなど困難なところなど参考になりました。設立までには資金など大変な面がありますがあきらめないで実現を目指して人生最後のときを安心して暮らせるよう頑張っていきたいと思います。(株式会社を検討中)

・研究会を発足して 7 年になりますが出来そうでなかなかできず、やっと実現することになりました。私たちの身の丈に合ったグループリビングが出来ることを願いつつ最後の追い込みを皆でやっています。(京都グループリビング研究会)

・私たちの地域(京都)では、グループリビングそれ何?という感じです。しかし何人かの人はグループリビングの情報を求めています。今日のお話を持ち帰り、知ってもらおうと思います。(京都グループリビング研究会)

・グループリビングを作るきっかけや運営・経営は違っているが入居者の主体性を尊重し参加しながらともに生きるという点では共通していると感じた。他人が同居することのむずかしさは、考えれば家族でも同じで入居者の話し合いのある生活を続けていくことが鍵となると感じた。(研究会)



東広島ワークショップ 12月6日(日)

広島県東広島市 明日の風

午前中 NPO 法人グループリビング明日への風と同法人の他の施設の見学を行い、午後は川上地域センターでワークショップを開催しました。最初にワークショップ主催の福島福祉施設長の清野恭子氏と開催場所である NPO 法人人間大好きとの渡邊壽江氏の挨拶がありました。続いて頼の浦さくらホームの羽田富美江氏が「地域を繋ぐさくらホームの取り組み-暮らしに豊かさを-」、NPO 法人人間大好きとの渡邊壽江氏が「高齢者グループリビング明日への風」、福島福祉施設長の清野恭子氏が「自由な暮らし。自分らしく、共に住もう-震災から新たなつながりを求めて」について、講演しました。その後、慶應義塾大学総合政策学部教授の大江守之氏が司会で各講師と参加者とのディスカッションを行い、参加者からグループリビングに関する様々な質問が挙げられ、講師がそれに応える形で行われました。約 20 人の参加がありました。



明日の風について

明日の風は、NPO 法人人間大好きによって 2010 年 4 月に公益財団法人 JKA の建設補助によりグループリビングを開設された。

同法人は、看護小規模多機能、訪問看護ステーション、デイサービス、障害者就労継続支援 B 型事業所などを行い、幅広く地域福祉に貢献している。



羽田富美江氏



清野恭子氏



渡邊壽江氏



大江守之氏



会場から質問



会場から質問

参加者の感想

- ・グループリビングの良さがわかった。これからの団塊の世代の暮らしを作るのに適切だと思った。(民間企業)
- ・地域住民を巻き込む活動等いろいろ勉強させていただきました。頭のかたすみにグループリビング創立という文字が出てきました。夢です。(NPO 法人・ボランティア)
- ・ワークショップの全国めぐりが今回が最後ということで残念です。今後も何らかの形で議論する機会を継続していただきたいと思います。グループリビングの普及が進めばいいと思っています。(大学)
- ・グループリビングは、地域から必要なサービスを提供しているのがわかった。(大学)
- ・4年目を終える段階でグループリビングについて、本質的な議論が出来たように思います。高齢者居住全体について考える中でグループリビングの役割を見出したい。(NPO 法人)
- ・グループリビング運営協議会は、第二のステージを迎えたのかなあと感じました。新年度は次の目標がみえてきたのかと思いました。(NPO 法人)
- ・グループリビングが今後どういう方向に行くのかという議論は、とても有意義でした。
- ・高齢者の意見も尊重すべきであると感じた。家族の意志も大切だが本当にそれが高齢者にとってより良いものになっているのかを考えていく必要があると感じた。(大学生)
- ・グループリビングの入居者の自立にとって地域と関わっていくことが大切であるということや役割を持つことが大切だと思った。(大学生)
- ・グループリビングとグループホームの違いを知ることができた。また自立について知ることができて本当に良かった。(大学生)



グループリビング訪問記を作成中です。

グループリビング運営協議会の会員が記者になって取材

今年度の訪問記は、あやめの里、明日への風、たすけ愛の家、COCO たかくらを掲載します。近兼路子さん（慶應義塾大学大学院）、中村雅光さん（じゅげむ館きたみ）、石原智秋さん（NPO 法人てのひら）、弓削久美子さんに実際に2泊3日滞在して取材していただきました。

3月末に完成予定で、3月末に会員の皆様のお手元にお届けする予定です。

ホームページ完成のお知らせ

「自由な暮らし。自分らしく、ともに住もう。」

JKA 補助事業(事業主体 福島福祉会)のホームページ を作成しました。

<http://www.gl-net-groupliving.org/>

3月末には、ワークショップの報告書や訪問記をアップする予定です。

HPをお持ちでしたら、リンクしていただければ、幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。

グループリビング運営協議会

会員募集中

一緒に活動しましょう！



■グループリビング運営協議会

連絡先 土井原奈津江 NPO 法人 COCO 湘南内

TEL 0466 - 46 - 4976 ・

FAX 0466 - 42 - 5767 (1PM~5PM・平日)



この会報は、公益財団法人 JKA 補助事業「お年寄りが幸せに暮らせる社会を創る活動」で運営されています。

編集後記 グループリビング運営協議会は、会員の皆様のご協力のお蔭で今年 5 年目を迎えました。今年度は更に発展できるように、よろしくお願いいたします。(な)

編集委員 土井原奈津江 星野友里